

H-4 熊野古道伊勢路

【山行日】2021年11月25日

【CL】3613 【参加者】 421 629 1935 2131 2140 2196 2495 2568 2752 2830
3008 3142 3155 3240 3252 3264 3432 3499 3586 3599
3611 3613 3616 3679

【コース】多岐原神社近くの登山口 9:30…10:00 三瀬坂峠 10:10…11:00 瀧原宮（参拝）
11:30…11:35 道の駅奥伊勢木つつ木館（お昼）12:15…13:35 阿曾湯の里…14:00
阿曾観音堂…14:45 岩船公園

名古屋を7時に出発、渋滞もなく紀勢自動車道の大宮大台 IC を降り、予定より早く到着して、三瀬峠登山口に向かいました。三瀬峠は、伊勢の正宮と別宮瀧原宮を結んだ参詣道で、古の巡礼者は、三瀬の渡しで宮川と別れを告げ、三瀬峠を目指しました。三瀬峠（標高 256m）は、高い峠では、ありませんが急坂のつづら折りが続きます。茶屋跡や宝暦6年に祀られたとされる地蔵などがあり、古道の雰囲気を感じます。峠の頂上から急な坂を一気に下り、里の集落を抜けると神社の杜の樹齢数百年を数える杉の木立が迎えてくれます。



瀧原宮 瀧原宮は、熊野街道の通る滝原の山間に鎮座される皇大神宮の別宮で、古くから遥宮として信仰を集めています。深い杜に囲まれた神域は、四十四ヘクタールの広さがあり、二所の別宮の他に所管社の若宮神社 長由介神社がお祭りされ、御船倉も古来の姿を伝えています。樹齢数百年を数える杉の木立に囲まれた参道の長さは、およそ 600 メートルあり、この参道と並行して流れる頓登川の清らかな谷水の流れが御手洗場となっています。（神宮支庁）

頓登橋を渡って、立派な林業家のお屋敷が所々ある風情の街並みの滝原の集落を抜

けます。歩道橋で国道を越えると長者野の大宮小学校、大宮中学校脇を通過して、大滝峡がある阿曾へ入り、国内でも珍しい石灰華の「がまいし」を見て、阿曾湯の里へ、大内山川の落ち着いた風情のある落瀬橋を渡ると、立派なけやきが目を引く阿曾観音堂があります。標高 544m の網掛山を右手に眺めながら国道 42 号、紀勢本線、大内山川に沿って、上流に進み岩船橋を渡って、柏野に入り岩船公園に着きました。

14Km の道のりでした。（3679）

